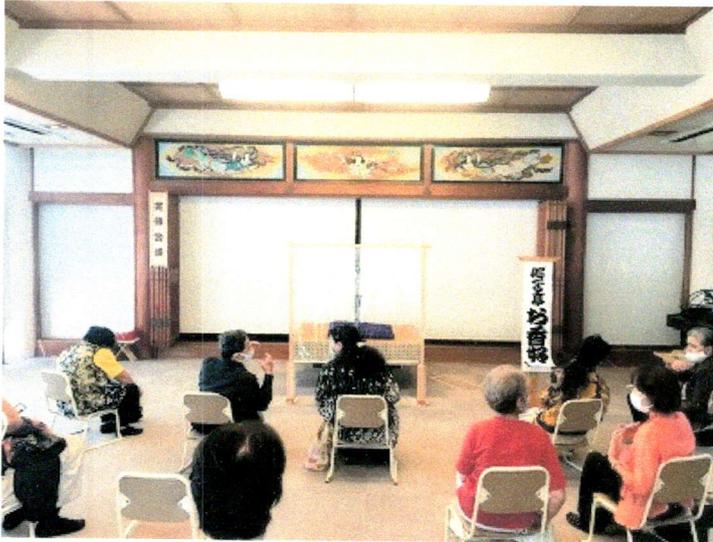


寺とも落語会

去る10月3日(日)午後2時～徳成寺において「寺とも落語会」が開かれました。蔓延防止の期間が終わって、初めての日曜日である寺ともサービスデーで、定員いっぱいの皆さんにお集まり頂くことができました。

ただ感染防止には、特段の配慮を致しました。このお写真でお分かりになりますでしょうか。落語会ではありますが、演者の前に飛散防止のためのビニールシートを設けました。本来は生の落語を楽しんで頂きたいのですが、もうしばらく時間がかかるようです。



トップバッターは、どんぐり亭お好香さんの「ちりとてちん」です。知ったかぶりする人を、ギャフンと言わせるいたずら心満載の有名な落語です。以前、NHKの朝ドラにもなりましたね。

次に、香川のアマチュア落語牽引者・酔亭藪太郎さんの「軒付け」という浄瑠璃ネタでした。浄瑠璃の稽古をあちこちで試みますが、行く先々で総好かんをくらい笑いを誘います。



中入りをはさんで、三味線ビューティーペア「はなより」さんが都都逸などを披露して下さいました。かつてボールペンのCMソングだった「真っ黒け節」や、お座敷で披露される「カッポレ」に、参加者一同から手拍子が自然と沸き起こりました。

トリは、家造亭艶九さんの「錦の袈裟」でした。まくらの部分で、徳成寺の住職にぜひ聞いて頂きたいという前振りがあり、何かと思えば、なんと！尊い袈裟をふんどしにして、宴席での芸者衆を前にして見せびらかすという、全くもって不謹慎な落語でした。艶九さんはもう出入り禁止です。(笑)

